

### **(1) 龍門山・龍泉山生態観光総合機能エリア**

龍門山生態観光総合機能エリアには、都江堰、彭州、崇州、大邑、邛崃および蒲江が含まれる。このエリアでは、地質、パンダ、温泉、水利、道教発祥等の観光資源を拠り所として、国際的な山岳リゾート観光地を構築している。

龍泉山生態観光総合機能エリアには、金堂、青白江、龍泉駅、双流および新津が含まれる。このエリアでは、景観・農業を主導として、西部一流の国家レベルの農村田園レジャー観光地を構築することを目標としている。

### **(2) 最適化型発展エリア**

最適化型発展エリアは、現代的農業を基礎として、現代的サービス業と先進的製造業を調和させる発展エリアである。範囲には市域西部の彭州、都江堰、郫県、温江、崇州、大邑、邛崃および蒲江等の平野を主体とした地区が含まれる。街の配置では山や水の景色を前面に出すことを重視して、「田園の中の街」を十分に体現する。

### **(3) 向上型発展エリア**

向上型発展エリアは、現代的サービス業を主導とする発展エリアである。中心市街区が範囲であり、「街の中の庭園」という都市構造を形成する。

### **(4) 拡張型発展エリア**

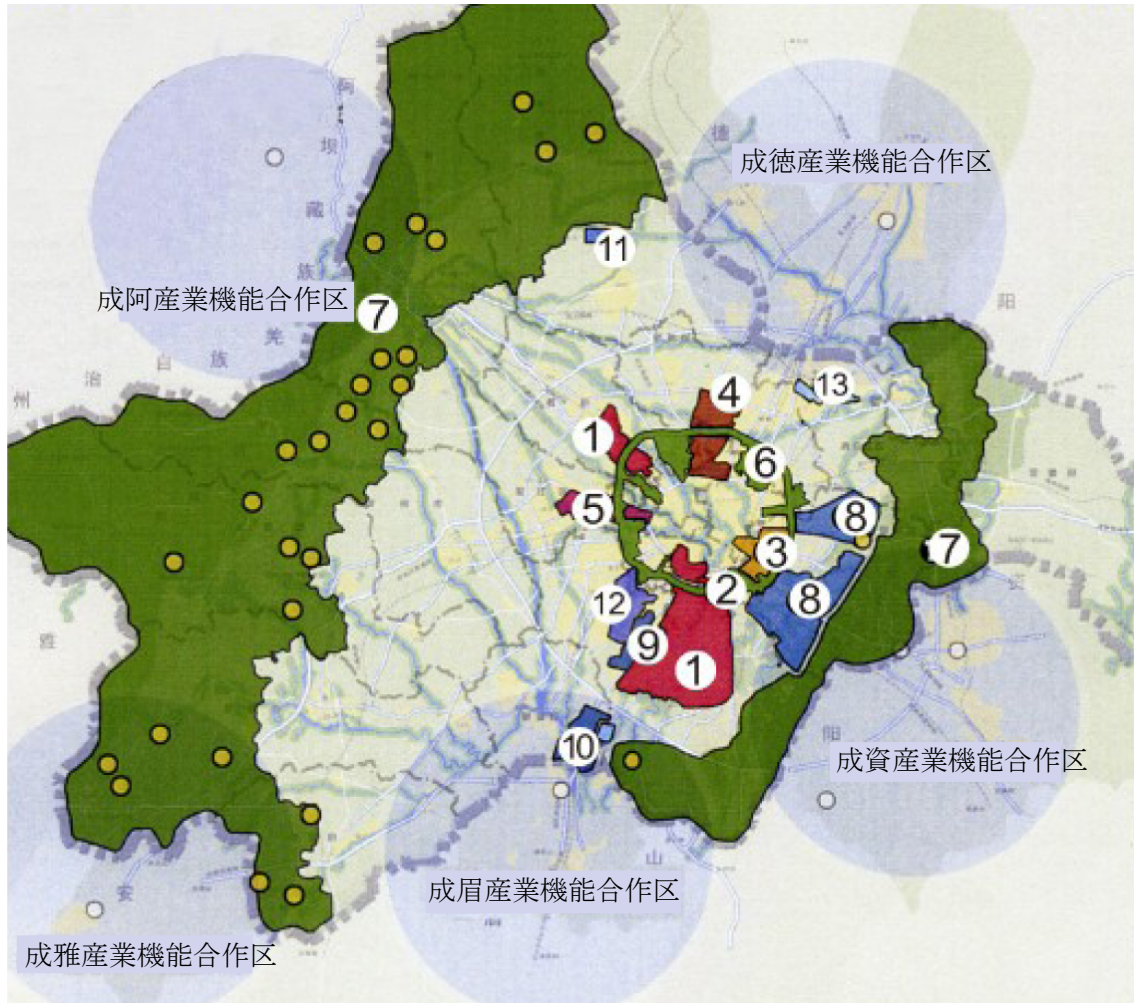
拡張型発展エリアは、先進的製造業を主導として、現代的サービス業と現代的農業を調和させる発展エリアである。範囲には市域東部の新都、青白江、金堂、龍泉駅、双流および新津等の丘陵を主体とした地区が含まれる。街の配置では生態的バックグラウンドの保護をベースとして、「街と田園の融合」を形成する。

また同時に、成都の経済エリア内において、成都-徳陽-綿陽、成都-資陽-遂寧、成都-眉山-樂山、成都-雅安および成都-阿壩という5つの地域産業協力エリアが計画されている。

## **2. 市レベルの戦略機能エリア**

全体の機能区分をベースとして、13の市レベルの戦略機能エリアが定められている。

## 市レベルの戦略機能エリア



### (1) 天府新城ハイテク産業エリア

この産業機能エリアは、電子情報（ソフトウェアを含む）、バイオ医薬を主体とするハイテク産業ならびにアニメ・ゲーム、文化観光を主体とする文化クリエイティブ産業の発展に重点を置いた、都市の中心業務地区（CBD）である。

計画範囲は、北は第1環状道まで、西は成昆鉄道まで、南は貨物鉄道の外環状線まで、東は成自瀘高速道路までであり、面積は約237km<sup>2</sup>である。そのうち、短期発展エリア（2015年まで）の面積は約50km<sup>2</sup>、中期発展エリア（2020年まで）の面積は約60km<sup>2</sup>、長期発展エリア（2020年以後）の面積は約38km<sup>2</sup>となっている。

### (2) 金融本部ビジネスエリア

この産業機能エリアは、金融産業の発展に重点を置いた、都市の金融本部ビジネスエリアである。

計画範囲は、北は繁雄大道および石勝路から、西は益州大道（站華路）まで、南は孵化